



「赤心」 校長室だより

No.2 7/2 (木)

文責 田中 敏子

「梅雨の晴れ間に」と、生花クラブの子どもたちが講師の先生方のご指導を受けながらお花を生けていました。お花は心が和みます。

クラブ活動の地域講師は将棋クラブでもお願いしています。大事なポイントを教えていただけてから、真剣な表情で対戦していました。



もっともっと運動会をやいたかった…

6月6日(土)に行われた運動会については、子どもたちの姿を、学年だや学級だよりでお伝えしてあると思います。遅くなって申し訳ありませんが、6年生の姿を中心にお伝えしたいと思います。

運動会に向け、子どもたちに願うこととして3点(前号)を挙げました。

自分の持っている**力を出し切る**こと

仲間と**心を合わせる**こと

今日の自分が一番良かったと言えるよう

気持ちを込めること

運動会当日に見ていただいたとおり、全力で一生涯懸命に取り

組む子どもたちの姿がありました。心の中はどうだったんだろう…と、学級だよりの6年生の日記を見せてもらいました。

「負けたけど、悔いはなかった」

「もっともっと運動会をやいたかった」

「スローガン『今この一瞬に思いを込めて勝利をめざせ』は達成できたと思った」

「(組体操で)苦しいのは頑張っている証拠だと思いつつ、痛いのを我慢した」

「これからも、みんなで力を合わせて生活していきたい」等

組体操の本番では、担任が「みんなの気持ちを合わせ、見ている人に感動してもらえる演技をしよう」という話をしていました。

運動会の後で日記を読み、子どもたちが運動会に込めていた思いや終えた後の達成

感を感じて涙ぐんでいる担任の姿がありました。

行事の度に子どもたちの成長を感じます。

子どもがその行事にどう向かうのか・向かったのが大事なのでしょう。

運動会の準備を含め、保護者の皆様には大変お世話になりました。ありがとうございました。

子どもたちが運動会で力を発揮できたのは、毎日の練習で疲れた子どもたちを見守り励ます家庭があったからでしょう。

「練習で疲れたり体がいたくなったりするのは、それだけ頑張っている証拠なんだね。」と認めてくれる大人の存在は、子どもたちにとって大きいものだと思います。

6年生「臨海体験学習」 5年生「高原学校」と続きます。





全校読み聞かせ会

19日(金)に「全校読み聞かせ会」が行われました。創立120周年記念で、親子文庫の皆さんが計画してくださいました。

数年前にも来ていただいた松本市の美咲蘭先生と先生が主宰するオフィス蘭の皆様による読み聞かせで、次の5作品を聞かせていただきました。

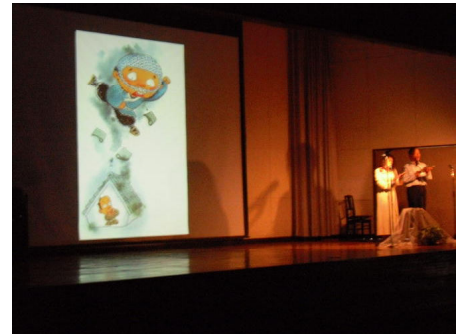
「宝石姫(ペロー 作)」

「マルチンとカボチャおばけのまほうのたね (イングリット・オストヘーレン 作)」

「なんてなくのかなあ(千葉幹夫 文)」

「ききみみずきん(日本の昔話)」

「さくらいろのハンカチ(海老名香葉子 作)」



体育館から出たとき、ちょうど横に2年生がいたので聞いてみると、「みんな良かったけど、最後のお話は、涙が出そうになったよ。」などと感想を話してくれました。

素晴らしいことはの世界を共有できた私たちの内には、わき上がってくる感動と、内面に静かにしっかりと確実に染みこんでいく何かがあったような気がします。それは、淡い色の糸が重なって深く美しい色合いの布が織られていくときの、大切な1本の糸のようなもの、一人一人の内面にその人らしさがつくられていく基になるものだということに思います。



プール開き

運動会の後は、もう水泳のシーズン到来です。

6月24日(水)の朝、プール開きを行いました。

水泳は大変素晴らしい運動です。子どもたちの大好きな運動の一つです。

しかし、水が相手の運動ですから、命にかかわる危険性も持っています。

自分の目標に向かうとともに、きまりを守って事故のない水泳学習にしてほしいと願っています。

子どもの目

4年生の「学級だより」に次のような日記が載っていました。

「たとえばの話」

たとえば、自分の親が子どもにプレゼントをもらいました。でも、気持ちだけでいいよと言います。

どうして、親は気持ちだけでいいのでしょうか。

先生なら、そうしますか？

担任の先生は、「〇〇さんは優しいね。親は〇〇さんの優しい気持ちが分かるから、“その気持ちが一番のプレゼント”なんですよ。」

と返事を書いていました。

自分の考えていること、これからやろうと思っいること、やったこと等の価値を教えてください。

子どもは自分に自信を持てるし、自分を好きになるんじゃないでしょうか。

杏がいっぱい!

学校の杏の木に実がいっぱい付きました。

1, 2年生は、美味しい杏ジャムを作るようです。杏の木が学級に1本あるってことは幸せなことですね。